

公益事業 「3.11あの日を忘れない・・・」

# 橋本 栄 展

SAKAE HASHIMOTO EXHIBITION

2014年 3月9日(日)～3月16日(日)

横須賀三浦教育会館ホワイエ

開館時間 11:00～17:00 初日 12:00 オープン  
最終日 16:00 まで

\*作家 土・日の 12:00～17:00 在会場

■主催：(公財)横須賀三浦教育会館



「あの日を記憶IV」F30号

橋本さんは長年逗子市の各小学校に勤務している福島県出身の作家です。

2011年3月11日の東日本大震災及び福島原発事故により、福島県民の生活は大きく変わりました。事故直後、故郷の親族、友人、知人から聞いたその時の様子や様々な思いの中から生まれてきた5点の作品を中心に、日頃描かれていた作品と共に展示致します。

ご高覧いただけたら幸いです。

橋本 栄 (略画歴)

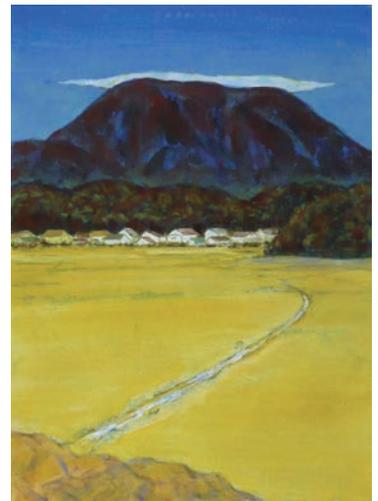
伊藤昇先生(日展)に師事

2003年 早見芸術学園日本画塾卒業

◎過去の主な出品団体展&コンクール

- ・日本画院展
- ・鎌倉美術展
- ・上野の森美術館大賞展
- ・ブロードウェイ新人賞展
- ・日本アートアカデミー賞
- ・ARTBOX マスターズ大賞展
- ・しんわ美術展
- ・北の大地ビエンナーレ
- ・アートムーブ 2011 絵画コンクール
- ・ふるさとの風景展
- ・ヨコスカ平和美術展
- ・他

◎個展 8回



「ふるさと」F4号

～オープニングイベント～

♪ 橋本陽子 ピアノ弾き語りライブ ♪ (入場無料)

日時: 3月9日(日) 14:00～14:50

場所: 個展会場横教育会館ホールにて



\* 橋本陽子: ピアノ弾き語り・シンガーソングライター  
都内・神奈川・千葉を中心に各地で演奏活動中。  
あたたかく包みこむ歌声とピアノの音色。  
オープニングに音楽でみなさまをお出迎え・・・♪

<HP> <http://yoko.sunnyday.jp>



・京急「県立大学駅」下車 徒歩 10分 ※ホームセンター HOME'Sの前  
・JR 横須賀駅から京急バス 平成町循環「日ノ出町」下車

●問い合わせ：(公財)横須賀三浦教育会館 TEL046-824-0683 〒238-0006横須賀市日の出町3-19-16

< 3. 11あの日を忘れない・・・ >

「個展に寄せて」

橋本 栄



「あの日を記憶Ⅳ」F30号

2011年3月の東北大震災そして原発事故から3年になろうとしています。

私の故郷の福島は、あの日以来大きく変わりました。大地震の被害とともに未だに解決の見えない原発事故の恐怖、不安、風評被害… そんな中で妹家族や親族、友人などが今も暮らしています。農業、漁業、観光業をはじめ様々な産業もダメージを受けています。

私の故郷は、小野町という原発から40kmくらいの所にある町ですが、爆発直後、いろいろな話を聞きました。家族を車に乗せてとにかく遠く離れようと新潟の方に逃げた知人、寝たきりの老いた母親がいるためどこに行くこともできなかったという親族、二人の小学生がいるので横浜の妻の実家に避難した隣人、避難するといっても行くところがないから不安でも家の中でじっとしているしかなかったという近所の年配の方などいろいろです。

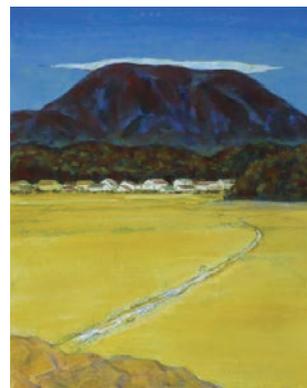
今回展示の中心にした作品6点は、そんな話を聞く中で心に浮かんできた、必死に子どもや家族を守ろうとする親の姿や途方に暮れる老人の姿、取り残された動物の姿、住むことができなくなった町などを描いたものです。

福島はもともとどかで、自然豊かで心も和むような景色のたくさんある、ほんとにいい地域です。遠く故郷を離れて暮らすようになってからよりそのことに気づくようになりました。

毎年お彼岸やお盆には帰省していますが、小野町ではそのような状況の中でも一昨年からは夏祭りなども行われるようになり、表面的には少しずつ元気が出てきているような印象も受けます。友人などの話にも、困難や不安の中にあってもそれに負けずに生活をしていこうとしている地元の人たちの力強さも感じています。しかし、これからも困難が続くことも事実です。

一日も早く、もとの姿に安心できる故郷に戻ってほしいと切に願っています。

2014年3月 記



「ふるさと」F4号